

## 4 環境と調和した農業の推進

# 4 環境と調和した農業の推進

## 国営農地再編整備事業（ニセコ町全域の農業基盤整備）

6,273万円

(国営農地再編推進室農地再編係)

前年度予算額7,048万円

町では、優良な農地と豊かな農村景観を未来に引き継ぎ、基幹産業である農業の振興からなる地域の活性化のため、国営農地再編整備事業を推進しています。

昨年度に引き続いて整備するほ場の工事を進めながら、来年度以降の工事に向けて測量・設計も行っていきます。

期成会では、今後も引き続き事業費確保のための中央要請活動や工事完了ほ場の見学などを継続し、より良い事業の実施のためにさらに活動を強化していきます。

### 主な経費

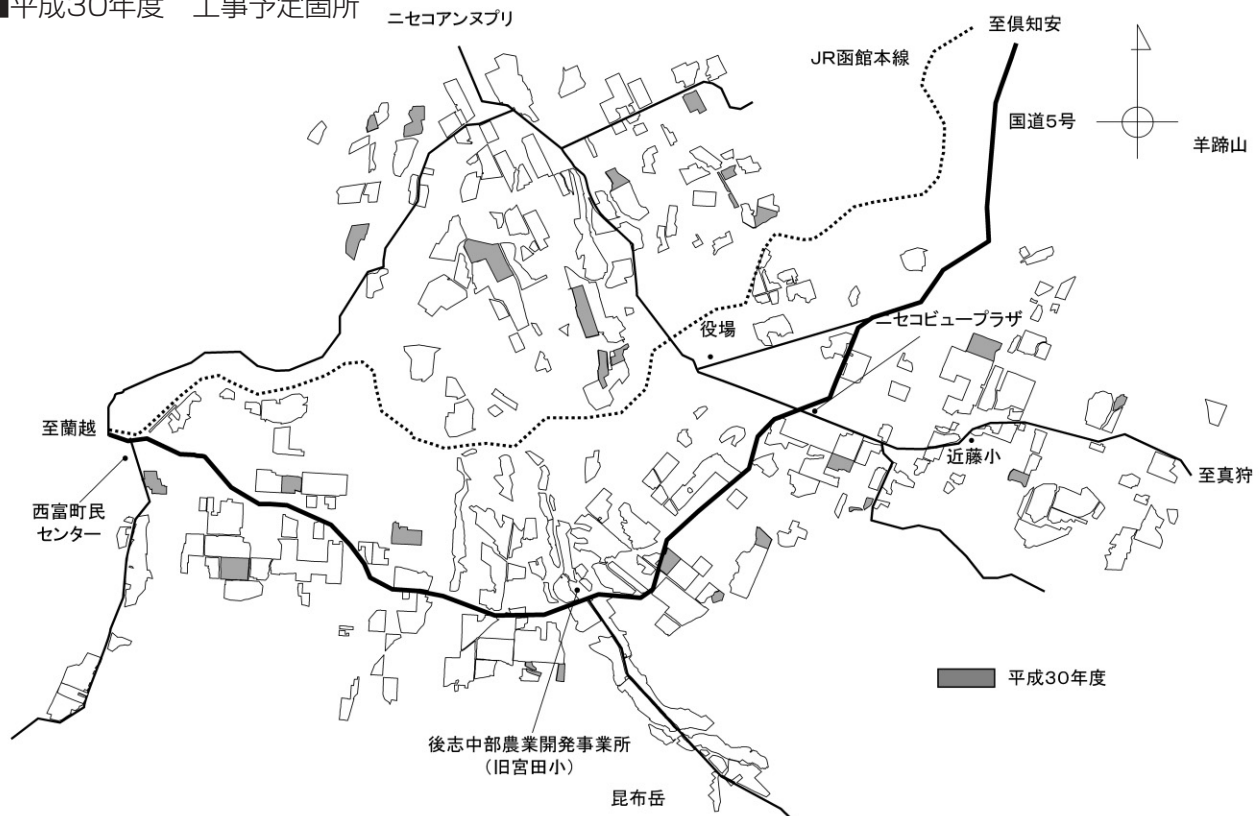
時間外勤務手当	122万円
臨時事務員賃金	173万円
研修や会議旅費	50万円
中央要望旅費	21万円
基盤整備工事に伴う土壌診断手数料	11万円
各使用料および借上料	218万円
ニセコ町国営農地再編整備事業促進期成会補助	65万円
換地委員会経費	32万円
換地計画など作成業務委託料	450万円
中心経営体農地集積促進事業交付金	5,028万円
その他経費	103万円

### 財源

国からの委託料	150万円
道からの委託料	1,100万円
（※主に人件費・機器類の使用料および借上料に充当されます。）	
農業経営高度化促進事業補助	2,765万円
中心経営体農地集積促進事業農業者負担分徴収金	2,262万円
国営事業客土材売払収入	10万円

4 環境と調和した農業の推進

### ■平成30年度 工事予定箇所



## 4 環境と調和した農業の推進

### 【拡】町単独の農業基盤整備事業

223万円

(農政課農地整備係)

前年度予算額130万円

国営農地再編整備事業の実施の中、緊急を要するものや、国の事業では採択されない条件の農業用水路の改修、明暗きよの掘削などに対して、町から必要経費の一部を助成します。

#### ■明暗きよ掘削特別対策事業補助金

農業者が実施する明暗きよ掘削工事に係る機械借上料（オペレータ含む）実稼動時間の2分の1以内の額や機械運搬経費の2分の1以内の額。（1農家につき30時間を上限）

※3月から4月に一斉に取りまとめます

#### ■農業用水路補修事業助成金

水利組合などが行う農業用水路の補修に係る経費の2分の1以内の額。

※随時受け付けています

#### ■農業用水路等用地確定支援事業補助金

農業用水路施設などが関係者以外の私有地に設置されている場合もあることから、用地確定測量費に係る経費の2分の1以内の額。



#### 主な経費

明暗きよ掘削特別対策事業補助金	50万円
農業用水路補修事業助成金	30万円
農業用水路等用地確定支援事業補助金	
	143万円

### 多面的機能支払交付金事業

3,879万円

(農政課農業支援係)

前年度予算額3,872万円

農村地域の高齢化や人口減少により、地域の共同活動によって支えられている農業の多面的機能の発揮に支障が生じつつあり、農村環境を地域全体で守っていくことが必要となっています。

平成25年度までの農地・水保全管理支払交付金事業から本事業へ移行した中で町内8地区の活動組織が引き続き取り組んでおり、農道や農業用水路周辺の草刈りなどの保全活動や、農村環境の良好な保全・景観形成などの質的向上を図る活動に対して支援されています。

各活動組織には、保全する農地面積に応じて交付金が支払われ、町はそのうち25%を負担します。

#### 主な経費

交付金	3,864万円
事務経費	15万円

#### 財源

国の負担額	1,944万円
道の負担額	966万円
二セコ町の負担額	969万円

## 4 環境と調和した農業の推進

### 土づくり対策事業

569万円

(農政課農政係)

前年度予算額584万円

安心・安全で質の高い農産物を生産し、消費者に支持される農業を実現するため、さまざまな施策を実施し農業の基本となる「土づくり」を町と農協、農業改良普及センターが協力して進めます。

#### ■作物栽培試験展示

水稲・畑作・野菜について各種試験栽培を行います。

#### ■完熟堆肥流通促進事業

堆肥センターが生産する良質な完熟堆肥を町内の農家のみなさんに利用してもらうため、農家が購入する完熟堆肥に対して助成します。今年は1トンあたり1,300円以内の助成を予定しています。

#### ■土壌診断事業

農地の現状把握と土づくりへの意識を高めてもらうため、土壌診断手数料の一部を補助し、肥料の適正な使用や堆肥の活用へ向けた土づくりを推進します。

#### ■緑肥作物奨励事業

緑肥の種子購入経費に対して助成し、土壌改善、環境保全、景観美化を推進します。特に景観緑肥への重点助成を予定しています。

#### 主な経費

作物栽培試験展示	15万円
完熟堆肥流通促進事業	305万円
土壌診断事業	24万円
緑肥作物奨励事業	225万円

### 土づくり事業 有機質資源対策事業 671万円

(農政課畜産林務係)

前年度予算額676万円

堆肥センターは指定管理者制度を利用し、管理を委託しています。この、堆肥センターの運営や大規模な維持修繕に係る費用です。

#### 主な経費

管理委託料	465万円
修繕に要する経費	100万円
原材料確保に係る費用	87万円
その他管理に関する経費	19万円

### 農地流動化促進事業

117万円

(農業委員会農地係)

前年度予算額102万円

地域内にある農地を流動化させることで、農地の保全や効率的な利用を促進して持続性ある地域農業の確立を目指します。

この事業では平成30年までに新たに5年以上の賃借契約を行ったとき、年額賃借料の5分の1を5年間助成します。事業助成期間は平成35年までです。

#### 主な経費

農地流動化促進事業補助金	117万円
--------------	-------

## 4 環境と調和した農業の推進

### 中山間地域等直接支払事業

1,015万円

(農政課農政係)

前年度予算額1,015万円

農業者の高齢化や離農により、国土の保全力や水源かん養力といった多様な機能の低下が心配されています。特に平地と比べて生産条件が不利な中山間地域の農地で、機能低下が起こりやすくなっています。

このため国では、平成12年から対象農地で営農する生産者に対して、平地との生産格差分の金額を交付してきました。平成27年度からは日本型直接支払制度における取り組みとして法制化され、今後も地域が連携して農道の補修や水路の管理などを行い、農村景観の維持保全を図っていきます。町内3地区での事業の活用を予定しています。

■交付対象地：20分の1以上の傾斜のある水田（4,738アール）

■交付金額：10アール当たり21,000円

#### 主な経費

中山間地域等直接支払事業 1,015万円

#### 財源

国の負担額	497万円
北海道の負担額	268万円
二セコ町の負担額	250万円

### 農業再生協議会事業

391万円

(農政課農業支援係)

前年度予算額456万円

平成23年度から農業者戸別所得補償制度が実施され、平成25年度からは経営所得安定対策と名称変更し継続実施されています。この制度は、販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、食料自給率の向上と農業の多面的な機能を維持することを目的としています。今年度もこの事業の実施機関である地域農業再生協議会への補助を行い、事業の円滑な実施に努めます。

#### 主な経費

経営所得安定対策等推進事業補助金  
391万円

#### 財源

国の負担額	387万円
二セコ町の負担額	4万円

### 残留農薬対策事業

10万円

(農政課農政係)

前年度予算額10万円

平成18年に道内産のかぼちゃから基準値を超える残留農薬（ヘプタクロル）が検出されたことから、かぼちゃの作付けを予定する農地の土壌分析調査を継続して実施します。今後も関係機関と連携を図りながら問題発生を防ぎ、クリーン農業の推進を図ります。

※ヘプタクロルとは？

1957年から1975年の間に農薬登録がされていた有機塩素系殺虫剤。1986年に製造・販売・使用が禁止されています。

#### 主な経費

残留農薬分析補助 10万円

## 4 環境と調和した農業の推進

### 拡 クリーン米推進事業 315万円

(農政課農政係) 前年度予算額300万円

「YES! clean」を活用した米生産を継続するため、一般的な栽培と比較して収量減となる部分の補てんとして取り組み面積に対して支援を行うとともに、良食味である低タンパク米、近年需要が高まっている酒米に関する作付けの推進のため出荷に応じて加算した支援を行います。

また、高品質なクリーン米のPRを行い、町内外での販路拡大を進め、消費者に選ばれる産地を目指すために、二セコ産米普及推進活動に支援します。

#### 主な経費

イエスクリーン生産対策支援事業補助  
315万円

### 家畜振興事務経費 129万円

(農政課畜産林務係) 前年度予算額135万円

酪農畜産業を推進するための予算です。

酪農家の生産意欲喚起や目で見える成果を競うことを目的に家畜共進会を開催するとともに、家畜や小動物とのふれあいの機会を作ります。開催時期は今後関係する団体や酪農家のみなさんと話し合い決定します。(昨年の二セコ町が主催する共進会は8月下旬でした)

さらに、生産する牛乳の資質向上のための対策費と、乳牛の飼育は非常に重労働であり、休みがない経営形態の緩和のための対策費を計上しています。

#### 主な経費

共進会などの経費	23万円
乳牛資質向上対策費	25万円
ヘルパー利用組合	55万円
その他の事務経費	26万円

### 畜産施設維持管理経費 11万円

(農政課畜産林務係) 前年度予算額12万円

畜産業に関連する施設の維持管理経費です。

#### 主な経費

共進会場に係る経費 11万円

### 草地維持管理経費 607万円

(農政課畜産林務係) 前年度予算額604万円

酪農家の乳牛の育成に係る労力やその経費を集約し負担軽減につなげるために、町で経営する町営牧場へ若牛を預けます。その牧場の維持管理に係る経費です。

#### 主な経費

牧場の維持管理経費	435万円
牧草に放牧する牛の管理経費	172万円

#### 財源

酪農家の負担額	150万円
二セコ町の負担額	457万円

## 4 環境と調和した農業の推進

### 認定農業者への支援 12万円

(農政課農政係) 前年度予算額17万円

認定農業者は、二セコ農業の中核的な担い手として、効率的で安定した農業経営を目指す「農業経営改善計画」が町に認定された農業者です。町では、認定農業者に対して、さまざまな支援を行います。

#### 主な経費

農業経営基盤強化資金利子助成 12万円  
 ※農業経営基盤強化促進法に基づき、積極的な経営を展開する認定農業者が借りた「農業経営基盤強化資金（通称：L資金）」

#### 財源

北海道の負担金	6万円
二セコ町の負担額	6万円

### 拡二セコ町農業青年会視察研修事業 18万円

(農政課農政係) 前年度予算額11万円

二セコ町農業青年会は、今後の二セコ町農業の担い手集団です。

先進的・活発的生産集団の取り組みや先駆的作物栽培技術の学習、農産物の販売PRなどを行うことでより高い次元での実践を促し、幅広い視野を持った優れた農業経営者となるための研修活動に対し支援を行います。

#### 主な経費

二セコ町農業青年会視察研修事業補助金 18万円

### 元気な担い手の育成事業 2,055万円

(農政課農政係) 前年度予算額2,185万円

二セコ町農業の担い手を育成するため、資金の融資・貸し付けなどを行います。

#### ■青年就農給付金（国）

経営開始直後の新規就農者（認定新規就農者など）に対して給付金を給付します。

給付額：150万円以内/年（夫婦での共同経営者は×1.5）最長5年間

#### ■新規就農資金貸付金（町）

①「農業経営基盤強化の促進に関する基本構想」において目標とする農業所得（おおむね480万円）を達成する計画を樹立できる人

貸付限度額：100万円（1回限り）

②おおむね60歳未満で、就農5年後の農業従事者1人当たりの農業所得が150万円以上となる経営計画を樹立できる人

貸付限度額：30万円（1回限り）

※平成24年から国の青年就農給付金制度が運用されているため、町の資金などのあり方について検討していきます

#### 主な経費

青年就農給付金	1,725万円
新規就農資金	330万円

#### 財源

国からの交付額	1,725万円
JAようていの負担額	6万円
二セコ町の負担額	324万円

## 4 環境と調和した農業の推進

### 【拡】 農業委員会活動事業 968万円

(農業委員会農地係) 前年度予算額686万円

農業委員会は、委員13人で組織された農業者の公的代表機関です。

農地の権利移動についての許認可や農地転用の業務、遊休農地や耕作放棄地の活用促進に向けた対策、農地の賃貸借などの利用調整業務を行っています。

#### 主な経費

委員報酬	461万円
時間外勤務手当	28万円
臨時事務員賃金	175万円
旅費	131万円
負担金	98万円
その他経費	75万円

#### 財源

北海道からの交付額 (事務交付金、証明手数料)	68万円
二セコ町の負担額	900万円

### 農地の管理について

(農業委員会農地係)

農地を売買、賃貸をするときや農地に農業用倉庫や住宅、土砂の仮置などを行うには、農業委員会の許可が必要となります。許可を受けずに行った場合、罰金や懲役など罰則がありますので、必ず農業委員会にご相談ください。

また、農地として使われていない場合は、所有者の意向を聞いたうえ、知事などにより強制的に賃貸借権の設定などが行われる場合があります。自分で耕作できない場合も農業委員会にご相談ください。

### 農業後継者の結婚支援 50万円

(農業委員会農地係) 前年度予算額50万円

農業と商工業後継者の結婚を支援する「二セコ町グリーンパートナー推進協議会」の活動に対し補助をしています。協議会では町外から女性参加者を募り、町内独身男性との交流会の開催などを企画しています。

#### 主な経費

推進協議会事業補助金	50万円
------------	------

### 農業者年金事業 27万円

(農業委員会農地係) 前年度予算額36万円

農業者年金の加入や受給に対する相談、被保険者の管理業務を行います。農業者年金は、農業者の老後の生活の安定と、農地などを円滑に継承するために設けられている制度です。

青色申告者や認定農業者には、国が保険料の一部を助成し、保険料も全額所得控除の対象となるなど利点がある制度です。農業者であれば誰でも加入できます。

#### 主な経費

臨時事務員	16万円
消耗品など事務経費	11万円

#### 財源

事務委託金 (独立行政法人農業者年金基金から 事務委託金が交付されます)	26万円
二セコ町の負担額	1万円



## 4 環境と調和した農業の推進

### 新 農地や農業用施設の災害復旧工事

560万円

(農政課農地整備係)

前年度予算額0万円

近年、局地的な豪雨や融雪により、農業用施設などが被害を受けています。被害による営農への影響を最小限に抑えるため、施設などの復旧工事を行います。今年度は、昨年6月の大雨により決壊した、農業用排水路を併用する「瑞穂の沢川」のV型トラフの復旧工事を行います。

#### 主な経費

農業用施設災害復旧工事 560万円

#### 財源

北海道からの補助金 (予定)  
地域づくり総合交付金 280万円  
(小規模土地改良事業)  
※事業費の2分の1補助



4 環境と調和した農業の推進

### 農地や農業用施設の災害復旧事業 (町単独)

71万円

(農政課農地整備係)

前年度予算額51万円

融雪や台風などの災害による被害を未然に防ぐためには、日ごろから関係者が協力・連携して農業用水路や耕作農道などの農業用施設の維持管理に努めることが重要です。

実際に農地や農業用施設に災害が発生した場合は、速やかに復旧し、営農への影響を最小限にする必要があります。

そこで町では、国や北海道の補助対象とはならない規模の災害に対して即座に対応できるよう、平成22年度から「ニセコ町農地等災害復旧単独事業補助金交付要綱」を制定し、安心・安全な営農の維持につなげていきます。

災害による被害を見つけたときは、お早めに農政課農地整備係 (☎0136-44-2121) までご相談ください。

■対象経費：農業者が町内で実施する5万円以上の経費を要する災害復旧事業および2次災害防止のための応急処置

■補助金額：農地災害 100分の50以内  
農業用施設災害 100分の70以内  
(補助金額は1か所200万円を限度)

#### 主な経費

農地等災害復旧単独事業補助金 70万円  
その他の経費 1万円



